

令和4年度 第3回 都田小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年12月13日(火) 14時10分から16時00分まで
- 2 開催場所 都田小学校 会議室
- 3 出席委員 富田三枝子、小林宗吉、山下英治、波多野千津子、森上茂美、鈴木智江、影山善久、桐生大輔
- 4 欠席委員 木宮敬信、鈴木崇司
- 5 学 校 伊藤美香(校長)、井島健蔵(教頭)、地福清香(教務主任)
鈴木敬子(CSディレクター)
- 6 教育委員会 小川誠司(教育総務課)
- 7 傍聴者 なし
- 8 協議事項
 - (1) 議長の選出について
 - (2) 学校評価の結果と今後の取り組みについて
- 9 会議録作成者 鈴木敬子(CSディレクター)
- 10 会議記録

司会の教頭井島から、委員総数10人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 議長の選出について

司会から、今回の議長の選出について委員に意見を求めたところ桐生委員が推挙され、全員意義なくこれを承認した。

(2) 学校評価の結果と今後の取り組みについて

授業参観の後、別紙資料に基づき、教務主任より学校評価の結果について説明があった。

委員は2つのグループに分かれ協議を行い、グループの代表からは以下の発言があった。

・桐生委員のグループ

コロナの緊張も緩んで、授業も活性化している。

1・2年の合同授業は小規模校ならではの異年齢の交流がありよかった。

(3年の)コンパスを使って円を描き三角形を見つけるという課題では、手先の器用さや道具の操作が大事な部分。物事をうまく合理的に進めるために、下敷きを敷いたまま使うか取るかという基本的なことが問題解決には必要。それは小さい頃からの遊びの中で、コマを回したりいろいろな中から発揮されていく。

姿勢の保持がなかなか難しい。姿勢の教育が指摘されなくなってきている。実際いすや机のサイズが子どもの大きさに合っていない。姿勢の悪さはゲームや運動量が少ないせいかもしれない。

授業中に、悪い姿勢で話を聞かされた時にどう感じるか、人に影響を与えることを伝えることも必要。

子どもたちを主体的に活性化し、その能力を引き出すには、先生のリーダーシップとファシリテーション力が求められる時代になってきている。

アンケートで先生はシビア、親はおおらか、子どもはさらにもっとできていると見ている。人数が少ないので、一人、二人が%に大きく影響してしまう。そのまま受け取ってよいかわからない。

「自分の考えを大きな声で伝えることができる」は必ずしも大きな声で伝えることは必要ではない。自分の考えを持つことが大事。

自分の考えをどこでどんな時に伝え、自分の考えを伝えることはどういうことかを子どもたちに具体的な意味を持たせたい。

自分の長所と課題がわかることは主体性につながる。あなたはどうしたいのという問いから考えるきっかけになる。未来に向かってどこに行くのかを聞かない限り、子どもたちが目標を設定しない限り、イメージは持てない。子どもたちが主体性を持ち自分がこうなりたいという考えを持つことは、こちらの問う力で解決になる。

・影山委員のグループ

子どもたちが明るく自由に育っている。

タブレットを上手に使っている。

先生が子どもたちといっしょになって授業に参加している中で、先生の存在感が子どもに交じって薄く感じた。先生が何のためのタブレットで写真を撮っていて、別の子どもたちがほったらかしになっている場面があった。そのような点は授業中に軌道修正が必要。

コンパスを、下敷きを敷いたまま使っている。下敷きを抜いて円のスタートは7時の方向から回すとよい。

改善策では、家庭を巻き込んだ家庭学習にしていくとある。家庭学習は宿題だけでなく自分のための学習として位置づけるのはレベルが高すぎる。

(3) その他報告事項等

司会から、次回会議は令和5年2月17日(金)午前10時00分から都田小会議室で開催する旨の報告があった。議長について委員に意見を求めたところ、桐生委員が推挙され、全員意義なくこれを承認した。

